

# 第 1 回湘南数学セミナー

## 高校生のための現代数学

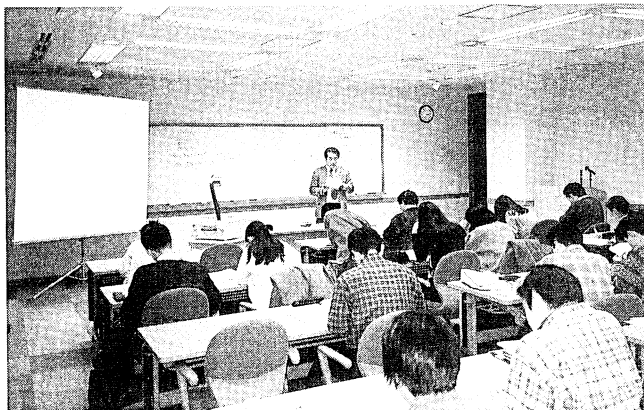
〈ゼータ関数から見た現代数学〉

日本数学会および湘南国際村協会主催の第 1 回湘南数学セミナーは、1995 年 12 月 26 , 27 日の両日にわたって、神奈川県葉山町の湘南国際村センターにおいて開催された。講師は黒川信重氏(東京工業大学, ゼータ研究所)および砂田利一(東北大学, ゼータ研究所)であり、ゼータ関数を中心的な話題として、現代数学の魅力を語ることが目的であった。初等的な部分(素数分布, リーマンのゼータ関数)は砂田が担当し、高度なトピック(合同ゼータ関数, フェルマーの定理等)については黒川氏が受け持った。約 50 名の参加者の主体は高校生であり、大学生、社会人、小学生も若干名出席した。両講師とも快適な講義を行うことができたが、これは国際村センターの素晴らしい環境と、参加者の熱心な聴講のお蔭である。天候にも恵まれ、初の合宿形式のセミナーは成功裏に終わったと思う。

湘南国際村のスタッフの方々には、セミナーの開催中はもちろん準備の段階でも大変お世話になった。この場を借りて感謝申し上げる。また、ワークショップにおけるチューターは、楯辰哉氏(東北大学 M2)と深谷太香子氏(東京工業大学 M1)にお願いした。さらに、数学会には様々な形で援助していただいた。なお、1996 年度のセミナーは 8 月中旬に開催予定である。

以下の文章は、砂田が本セミナーのために用意したものである。編集委員会の求めに応じて、今後のセミナーの参考のために全文掲載する。黒川氏の講義については、数学セミナーに掲載された数本の論説(例えば「素数いろいろ:素数定理 100 年」1995 年 12 月号)を参照されたい。

砂田利一(東北大学大学院理学研究科)



高校生対象の「湘南数学セミナー」